

奈良女子大学長選考基準

奈良女子大学は昭和24年に発足して以来、「女子の最高教育機関として、広く知識を授けるとともに、専門の学術文化を教授、研究し、その能力を展開させるとともに、学術の理論及び応用を教授、研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与すること」を目的として教育研究活動を行っている。平成12年には、時代状況や社会の変化に柔軟に対応し、また、社会からの要請に応えるべく次の基本理念を定めている。

基本理念

- 理念1 男女共同参画社会をリードする人材の育成
—女性の能力発現をはかり情報発信する大学へ—
- 理念2 教養教育、基礎教育の充実と専門教育の高度化
- 理念3 高度な基礎研究と学際研究の追究
- 理念4 開かれた大学
—国際交流の推進と地域・社会への貢献—

学長選考会議は、平成28年度に実施する学長選考にあたり、大学の理念を実現するため、学長選考基準を以下のとおり定める。

1. 学長に求められる資質・能力
 - (1) 人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動、社会貢献、国際交流を適切かつ効果的に運営する能力を有すること。
 - (2) 大学の最高責任者として、構成員とのコミュニケーションを図りつつ管理運営能力、経営能力を発揮できること。
 - (3) 第3期中期目標・中期計画に掲げる戦略的な中期目標（ミッション）を実現するためのビジョンとリーダーシップを持ち、戦略的な中期目標を確実に実行できること。
2. 第3期中期目標・中期計画に掲げる戦略的な中期目標（ミッション）
 - (1) 古都奈良に立地するという恵まれた環境を活かし、奈良（大和）に発生し、大和に育まれた日本文化の特徴と世界史的価値を再発見し、それを通じて、社会や文化を内面的に見つめる力を持ったローカルかつグローバル（グローバル）に活躍できる女性リーダーの育成を目指す。
 - (2) 「ミッションの再定義」において「強み」とされた「基礎物理学・分子科学・基礎生物学・高エネルギー物理学」を中心に、理工系諸分野の研究を進め、同時に理工系女性リーダー育成モデルを構築する。
 - (3) 国立女子大学としての伝統と使命に基づき、生活や消費の側から物事を捉え研究する生活科学の発展に資し、地球温暖化をはじめ我々を取り巻く自然的、社会的環境が激変する中、その変化に対応するために、新たなライフスタイル創造の教育研究拠点を形成し、その担い手としての女性リーダーを育成する。
3. 学長選考手続き
 - (1) 選考方法

- 1) 学長選考会議は、以下に掲げる者（以下「推薦資格者」という。）に対し、学長候補適任者推薦書（様式第1号）（以下「推薦書」という。）により学長候補適任者の推薦を求める。
 - ① 経営協議会学外委員
 - ② 学長、理事
 - ③ 常勤の全学職員（奈良女子大学職員就業規則第2条第1項及び奈良女子大学再雇用職員就業規則の適用を受ける者）

- 2) 推薦方法は次のとおりとする。
 - ① 推薦資格者は、学長候補適任者として推薦する者から学長候補適任者調書（様式第2号）、所信（様式第3号）及び同意書（様式第4号）（以下、「添付書類」という。）を徴し、推薦書に添えて学長選考会議へ推薦する。
 - ② 推薦書は各自が学長選考会議に提出するものとする。
 - ③ 学長候補適任者として推薦を受ける者は、添付書類を作成し、推薦資格者に提出する。
 - ④ ③の提出は1人の推薦資格者に提出するものとし、別の推薦資格者からの推薦を受ける場合は先に推薦を受けた推薦資格者に提出する旨を伝え、再度の作成は要しないものとする。
 - ⑤ 添付書類を学長選考会議に提出する（した）推薦資格者以外は推薦書のみ学長選考会議に提出すればよいものとする。ただし、推薦書の所定欄に添付書類を学長選考会議に提出する（した）推薦資格者の氏名を記入するものとする。

- 3) 学長選考会議は、5名以上の推薦資格者から推薦を受けた者の中から学長候補適任者5名以内を選考する。なお、選考にあたり必要に応じて面談を実施することができるものとする。

- 4) 学長選考会議は、選考した学長候補適任者の学長候補適任者調書及び所信を公開し、以下に掲げる者の意向を投票により調査（以下「意向調査」という。）する。
 - ① 学長、理事
 - ② 常勤の全学職員（奈良女子大学職員就業規則第2条第1項及び奈良女子大学再雇用職員就業規則の適用を受ける者）

- 5) 学長選考会議は、学長候補適任者への面談を実施する。

- 6) 意向調査の方法は次のとおりとする。
 - ① 学長候補適任者が4名以上の場合は意向調査を2回実施する。1回目では上位の者3名を決定し、その3名により2回目を実施する。
 - ② 学長候補適任者が3名以内の場合は意向調査を1回実施する。
 - ③ 学長候補適任者が1名の場合にも意向調査を実施する。

- 7) 学長選考会議は、面談結果、意向調査結果を参考に学長候補者を選考し、学長就任の承諾書（様式第5号）の提出を受け意思確認を行う。

8) 学長選考会議は、学長候補者選考結果・選考理由・選考過程を公表する。

(2) 選考日程

- 1) 学長候補適任者推薦の公示 平成28年6月15日(水)
- 2) 学長候補適任者の推薦期間及び推薦書提出先
期間：平成28年7月15日(金)～7月29日(金)17時
提出先：総務・企画課総務係
 - ・提出先に持参すること。
 - ・総務係において推薦資格者名簿により受付（添付書類の確認）をする。
 - ・総務係から、推薦を受けた者に書類を受領した確認メールを送信する。
- 3) 学長候補適任者の選考 平成28年9月5日(月)
～9月16日(金)
 - ・学長選考会議は、2)により5名以上の推薦資格者から推薦を受けた者の中から学長候補適任者として5名以内を選考する。
- 4) 意向調査実施の公示 平成28年9月20日(火)
 - ・学長候補適任者調書・所信の学内での公開
- 5) 学長候補適任者への面談 平成28年9月6日(火)
～10月5日(水)
- 6) 意向調査の実施 平成28年10月6日(木)
 - 投票時間 1回目
 - ・大学に設置する投票所 11時30分～13時
 - ・附属中等教育学校及び附属小学校に設置する投票所 12時30分～13時
 - 投票時間 2回目
 - ・大学に設置する投票所 15時30分～17時
 - ・附属中等教育学校及び附属小学校に設置する投票所 16時30分～17時
 - ・学長候補適任者が3名以下の場合は2回目の投票時間に1回実施する。
 - ・大学の職員は大学に設置する投票所、附属中等教育学校の職員は附属中等教育学校に設置する投票所、附属小学校及び附属幼稚園の職員は附属小学校に設置する投票所で投票する。
- 7) 学長候補者の選考・決定 平成28年10月12日(水)
 - ・学長選考会議による選考
 - ・学長候補者選考結果・選考理由・選考過程の公表

学長候補適任者推薦書

国立大学法人奈良女子大学
学長選考会議議長 殿

私は、本人の同意を得て、下記の者を国立大学法人奈良女子大学学長候補
適任者として、関係書類を添えて推薦します。

記

氏 名

平成 年 月 日

推薦者氏名（自署）

_____ 印

他の推薦者から関係書類が提出される場合は
その推薦者の氏名を記入すること。

関係書類は_____の
推薦書に添付されている。

- (注) ・本様式は、国立大学法人奈良女子大学学長の選考及び解任手続きに関する実
施細則に規定する別記様式 2
・用紙の大きさは日本工業規格 A 4 縦型とする。

国立大学法人奈良女子大学学長候補適任者調書

(ふりがな) 氏 名		
生 年 月 日		
現 (元) 職名		
学 位		
専 門 分 野		
略 歴 (最終学歴からのもの)	年 月	
主 な 業 績	(教育に関する業績) (研究に関する業績) (経営・管理運営に関する業績) (その他の業績)	

※ 2枚以内にまとめてください。

※本調書は、国立大学法人奈良女子大学学長選考のために使用するもので、学内に公開します。

- (注) ・本様式は、国立大学法人奈良女子大学学長の選考及び解任手続きに関する実施細則に規定する別記様式 3
・用紙の大きさは日本工業規格 A 4 縦型とする。

国立大学法人奈良女子大学学長候補適任者の所信

氏名（自署）

※①学長選考基準に定められた「学長に求められる資質・能力」に対する考え方、②大学運営に関する構想、③本学の将来構想、④教育・研究・社会貢献・国際交流についての考え方、⑤その他を含め全体で2000字以内で記入してください。

（注）・本様式は、国立大学法人奈良女子大学学長の選考及び解任手続きに関する実施細則に規定する別記様式4
・用紙の大きさは日本工業規格A4縦型とする。

同 意 書

国立大学法人奈良女子大学
学長選考会議議長 殿

私は、国立大学法人奈良女子大学学長候補者となることに同意します。

平成 年 月 日

氏名（自署）

⑩

連絡先
住所：

電話：

メールアドレス：

- （注）・本様式は、国立大学法人奈良女子大学学長の選考及び解任手続きに関する実施細則に規定する別記様式5
・用紙の大きさは日本工業規格A4縦型とする。

学長就任承諾書

平成 年 月 日

国立大学法人奈良女子大学
学長選考会議議長 殿

氏 名

国立大学法人奈良女子大学の次期学長に就任することを承諾いたします。

- (注) ・本様式は、国立大学法人奈良女子大学学長の選考及び解任手続きに関する実施細則に規定する別記様式11
・用紙の大きさは日本工業規格A4縦型とする。